



東京女子医科大学 Tokyo Women's Medical University

心臓血管外科

# 『心疾患早期発見プロジェクト』 報道関係者向けオンライン記者発表会



## 目次

1. 日本の社会課題と当社事業の方向性
2. 心疾患早期発見プロジェクトについて
3. 今後の方針・取組について
4. Appendix

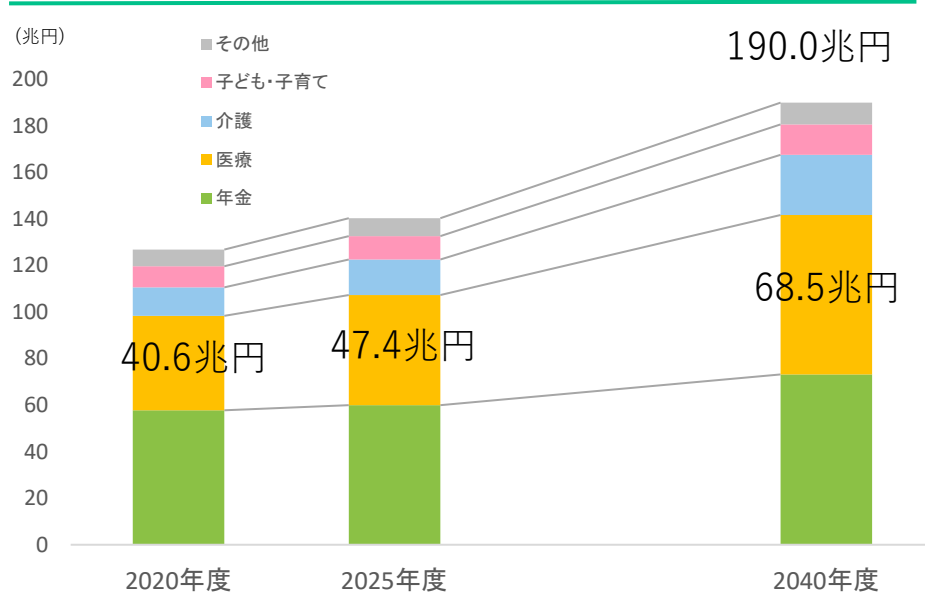


カラダノート

## 日本の社会課題と当社事業の方向性

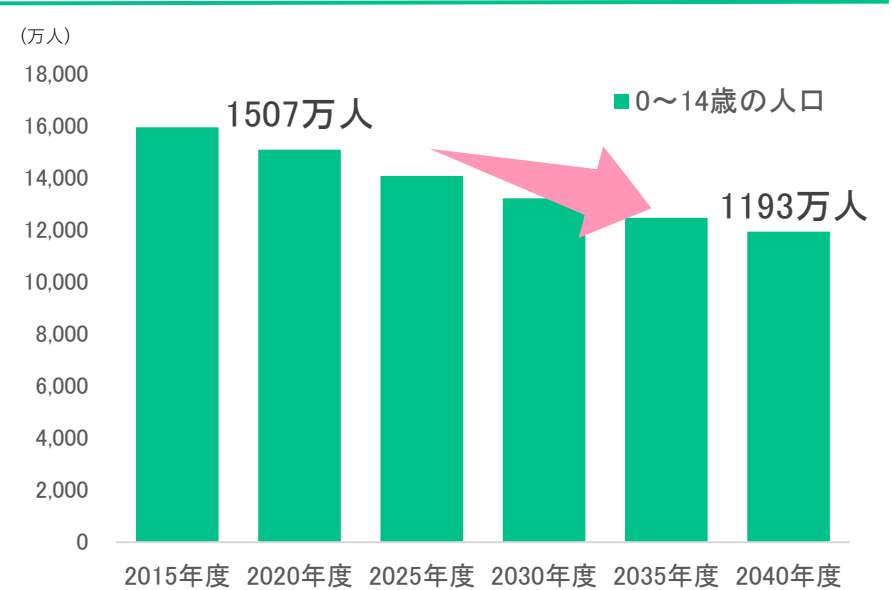
様々な社会課題の大元は“**少子高齢化**”  
少子高齢化の解決は日本の未来における最重要課題

## 高齢化による社会保障費の増大



出所：厚生労働省「2040年を見据えた社会保障の将来見通し」「社会保障の給付と負担の現状（2020年度予算ベース）」より当社作成

## 少子化による未来を担う世代の減少



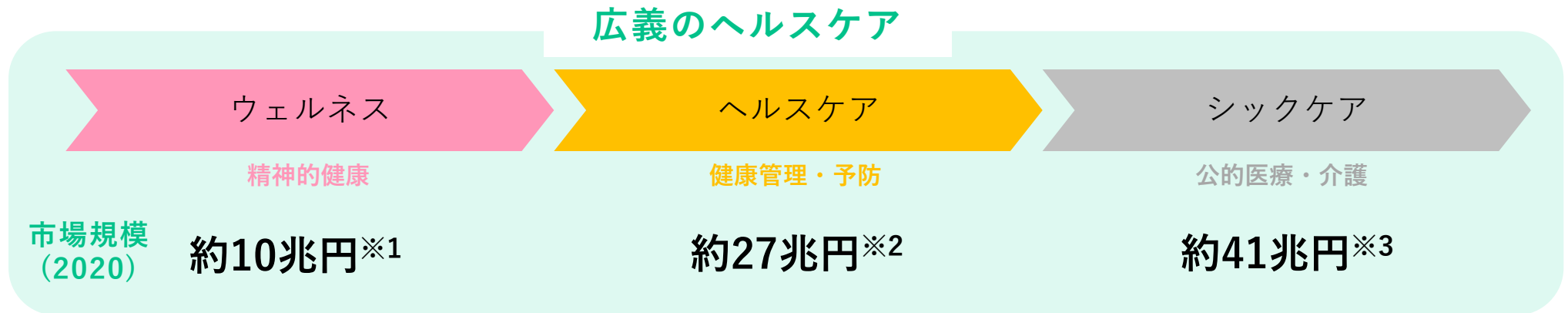
出所：国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口」より当社作成

特に健康寿命の延伸による  
**医療費の圧縮**が急務

子育てしやすい環境づくりによる  
**出生率の改善**が急務

カラダノートは事業を通じて、  
**医療費の圧縮**並びに、**出生率の改善**を目指します

社会保障クライシスの解消に向け、  
官民ともに**シックケア**より**ウェルネス・ヘルスケア**への資金流入が加速



出所：※1 矢野経済研究所「スポーツウェルネスウェルネス」「健康食品市場」「化粧品市場」「美容市場」「ベビー用品・関連サービス市場」を合算し、当社にて作成  
 ※2 経済産業省「次世代ヘルスケア産業協議会の今後の議論について～アクションプラン2019に向けて～」より当社にて作成、※3 厚生労働省「社会保障の給付と負担の現状（2020年度予算ベース）」より当社作成

## 健康寿命の延伸、出生率改善に向けた環境づくりを推進

テクノロジーを利用し、それぞれの領域の課題解決に向けたサービス開発を加速

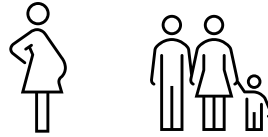
ウェルネス

当社の関与領域



結婚

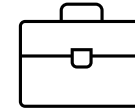
妊活



子育て



かぞく  
アシスタント  
kazoku assistant



就職・転職

かぞくとキャリア  
produced by karadanote



定年

セカンドライフ

ヘルスケア

当社の関与領域

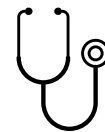


健康管理



早期発見

今回の発表領域



診療

オンライン診療



治療

オンライン服薬指導



ケア

見守りサービス

シックケア

両市場におけるサービス領域を広げることで、社会課題を解決

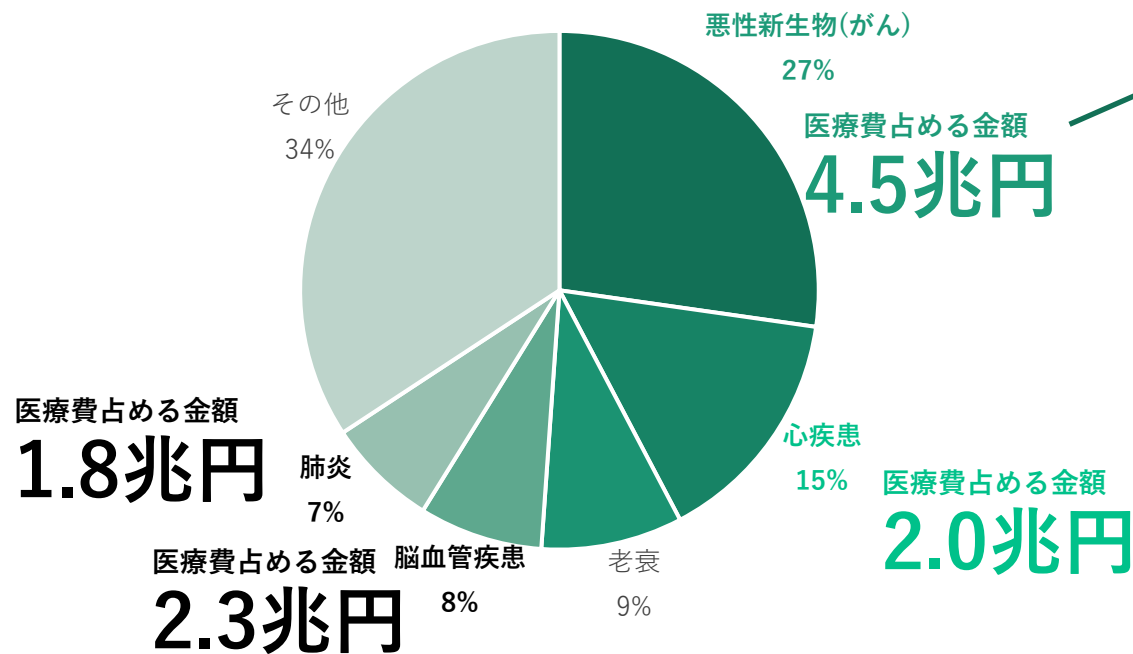


カラダノート

## 心疾患早期発見プロジェクトについて

三大疾病の中で、がんは血液検査のテクノロジーが進化  
一方、心疾患・脳血管疾患の検査方法は従来のみでテクノロジーの活用余地が大きい

## 日本における死因内訳（2019）と医療費



血液検査のテクノロジーが進化  
自宅での検査も発達

聴診器・心エコー・心電図などでの  
早期発見  
人間ドックなど旧態依然とした  
検査方法しか未だにない。

出所：厚生労働省「人口動態統計」「平成30年度 国民医療費の概況」より当社作成

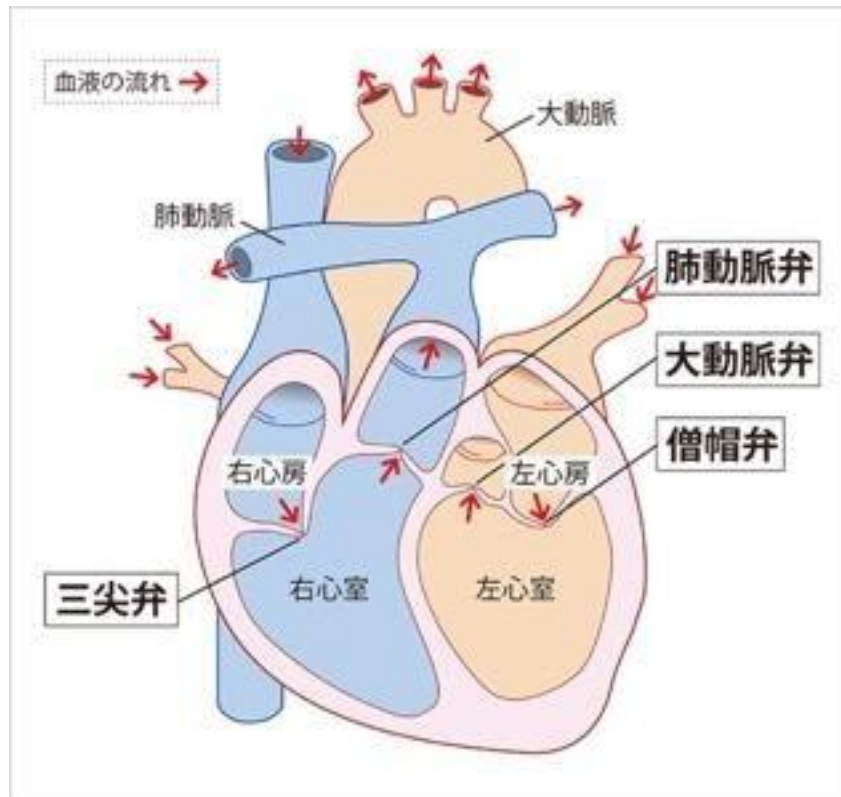
テクノロジーの活用により、新たな検査方法・仕組みを構築



## 心臓弁膜症とは

## 心臓弁膜症は心不全を引き起こすリスクファクターの1つ

それぞれの弁膜症に特徴的な心雑音が生じるため心音の聴診によって早期に発見可能



心臓の弁に異常が生じる病気

【症状】息切れ、胸痛、失神、動悸、足のむくみなど  
軽度～中等度では自覚症状がなく診断されないことが多い

弁の異常の種類

- ・ 狭窄症
- ・ 閉鎖不全症

病名

- ・ 大動脈弁狭窄症
- ・ 大動脈弁閉鎖不全症
- ・ 僧帽弁閉鎖不全症
- ・ 僧帽弁狭窄症

55歳以上の  
潜在患者数  
**422万人**

本プロジェクト開始に先駆け、スマートフォン録音機能による心音録音を試みたところ  
**聴取判定ができるレベルの心音が確認**

## 実際に佐藤のスマートフォンから心音音源をお聞きください

判定○な波長 (録音端末 iPhoneSE・正常音)




### 別途音源URLを共有させていただきます。

(ウェビナー終了後のアンケートにメールアドレスをご記入いただきます。)

スマートフォンの機能を活用していくことで、  
“疾患の早期発見”と“医療費削減”への貢献を加速させる。

## 共同研究者

東京女子医科大学  東京女子医科大学 Tokyo Women's Medical University 心臓血管外科  
心臓血管外科 教授・講座主任 新浪博士先生  
及び 心臓血管外科の先生方



## 研究対象

カラダノートが提供する血压管理アプリ  
「血压ノート」の利用者で許諾の取れた方

## 研究概要

スマートフォンを用いた心音聴取および心雑音解析から心臓弁膜症  
のスクリーニングを行う

## 判定基準

聴取した心雑音を3段階で判定し弁膜症診断との一致率  
を評価

## 期間

2021年7月開始予定

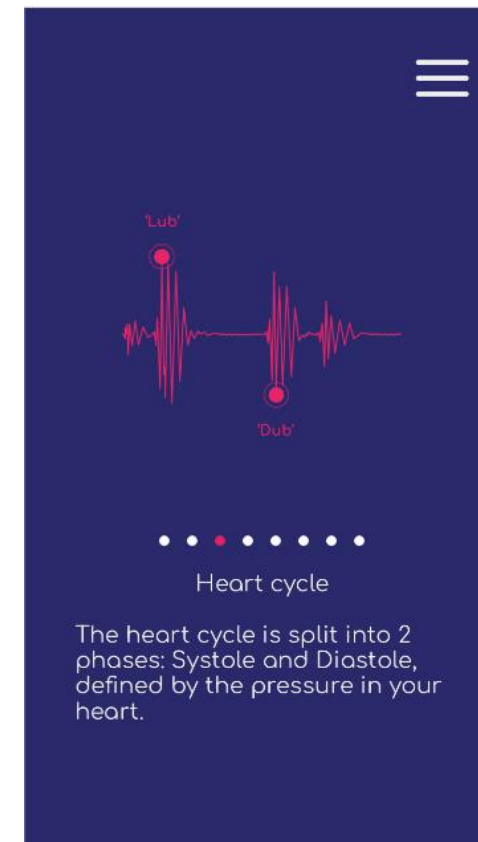
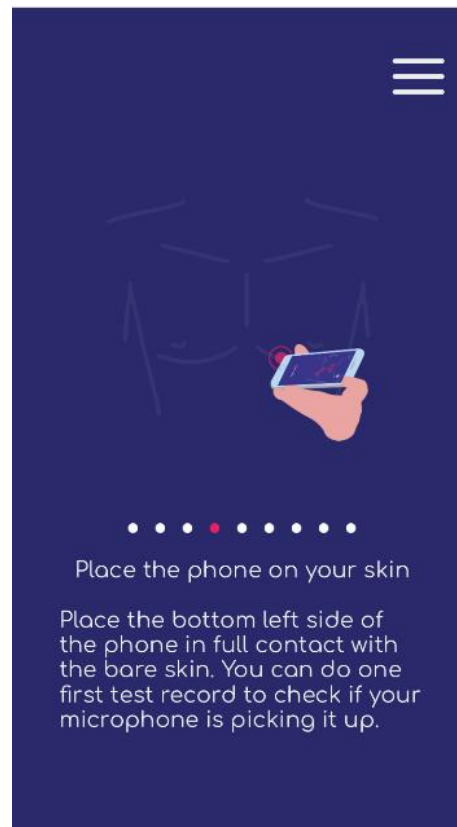
# ロンドン大がiPhoneで心臓音を録音するアプリ「Echoes」をリリース

(2021年5月28日)

キングス・カレッジ・ロンドン（ロンドン大学）とオランダのマーストリヒト大学の研究チームは、iPhoneを利用して心音を録音できるアプリ「Echoes」をリリース

研究チームは、提供されたデータを分析し、将来的に大動脈弁狭窄症といった心疾患の管理に活用できるかどうかの可能性を探るとのこと。

## 【Echoesアプリ画面抜粋】



<https://www.kcl.ac.uk/news/researchers-develop-mobile-app-to-record-the-sound-of-a-beating-heart>

<https://techable.jp/archives/155362>



カラダノート

## 今後の方針・取組について

医療現場との連携強化により、検査精度の向上を行いながら、民間保険会社との連携を加速

## 医療機関の狙い



医療機関

- 早期治療及び重症化予防の実現
- 適切なタイミングでの治療・手術の実現
- 手術数増加による医療レベルの向上

## カラダノートの狙い



カラダノート

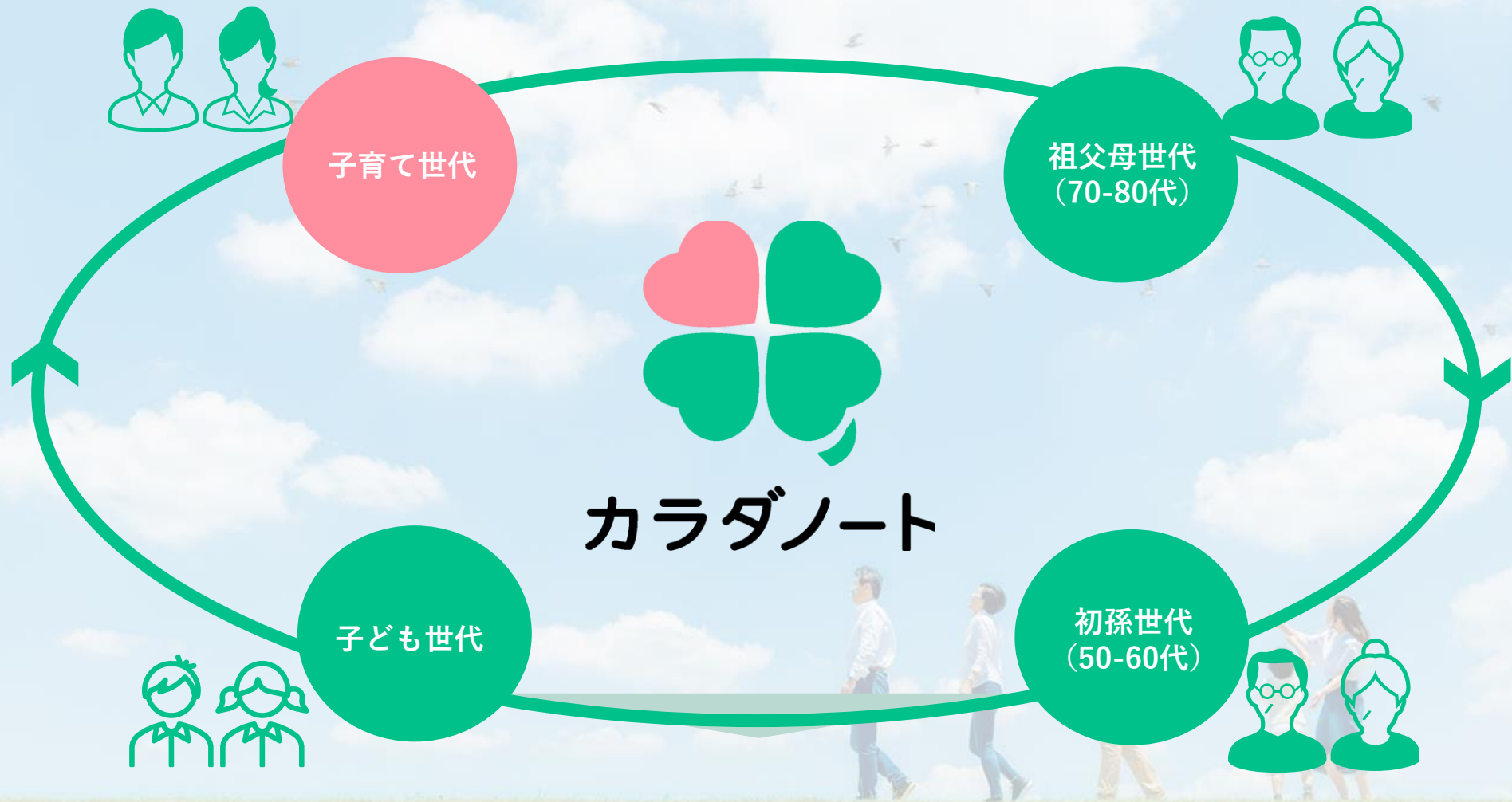


保険会社

- 大手生命保険会社との協業模索
- 早期発見による保険支払金等の削減
- 重症化予防効果による収益機会の創出

予防インセンティブの成長可能性は非常に大きく、  
医療レベルの向上並びにビジネス機会の創出としても拡大余地は大きい

家族のコミュニケーション機会を創出し、  
家族で健康を支え合う文化を実現



当社ビジョン「家族の健康を支え 笑顔をふやす」を実現

心疾患の早期発見および重症化を防ぐことに対する投資対効果は大きい  
課題の大きさを保険会社・健保組合へ理解いただくことにより、投資促進は可能だと想定

国民医療費約40兆円のうち  
心疾患の医療費に占める金額 (※1)

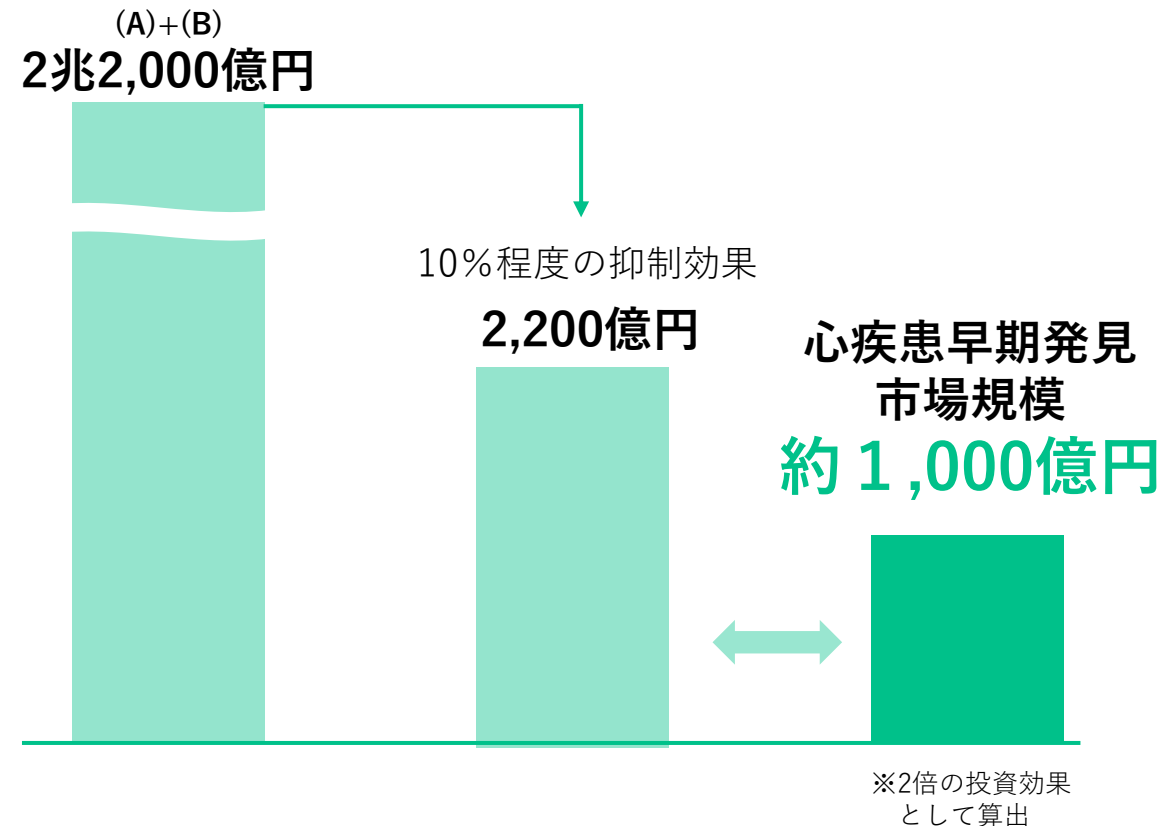
約**2.0兆円** (A)

(医療費全体に占める割合約5%)

民間保険金等支払金のうち  
給付金支払い額は (※2)

**4兆67億円**

心疾患の医療費割合5%にて  
給付金割合を算定すると約2,000億円 (B)



他の疾患でもオンラインドック市場 (※3) を拡大することで  
国全体での医療費の削減及び新たな収益機会の創出

(※1) 厚生労働省「平成30年度 国民医療費の概況」

(※2) 一般社団法人 生命保険協会「2020年版 生命保険の動向」

(※3) 「オンライン+人間ドック」の当社造語





# Appendix

## カラダノートについて

## 家族の健康を支え 笑顔をつやます

Corporate Vision



ライフイベントを起点に日本の幸福度を向上

## 家族の健康を支え 笑顔をつやます

私たちが考える**“健康”**とは？

私たちは、病気ではない、弱っていないということだけでなく、

**“肉体的にも精神的にも、社会的にも  
全てが満たされた状態”**

であると捉えております。



私たちの**“存在意義”**とは？

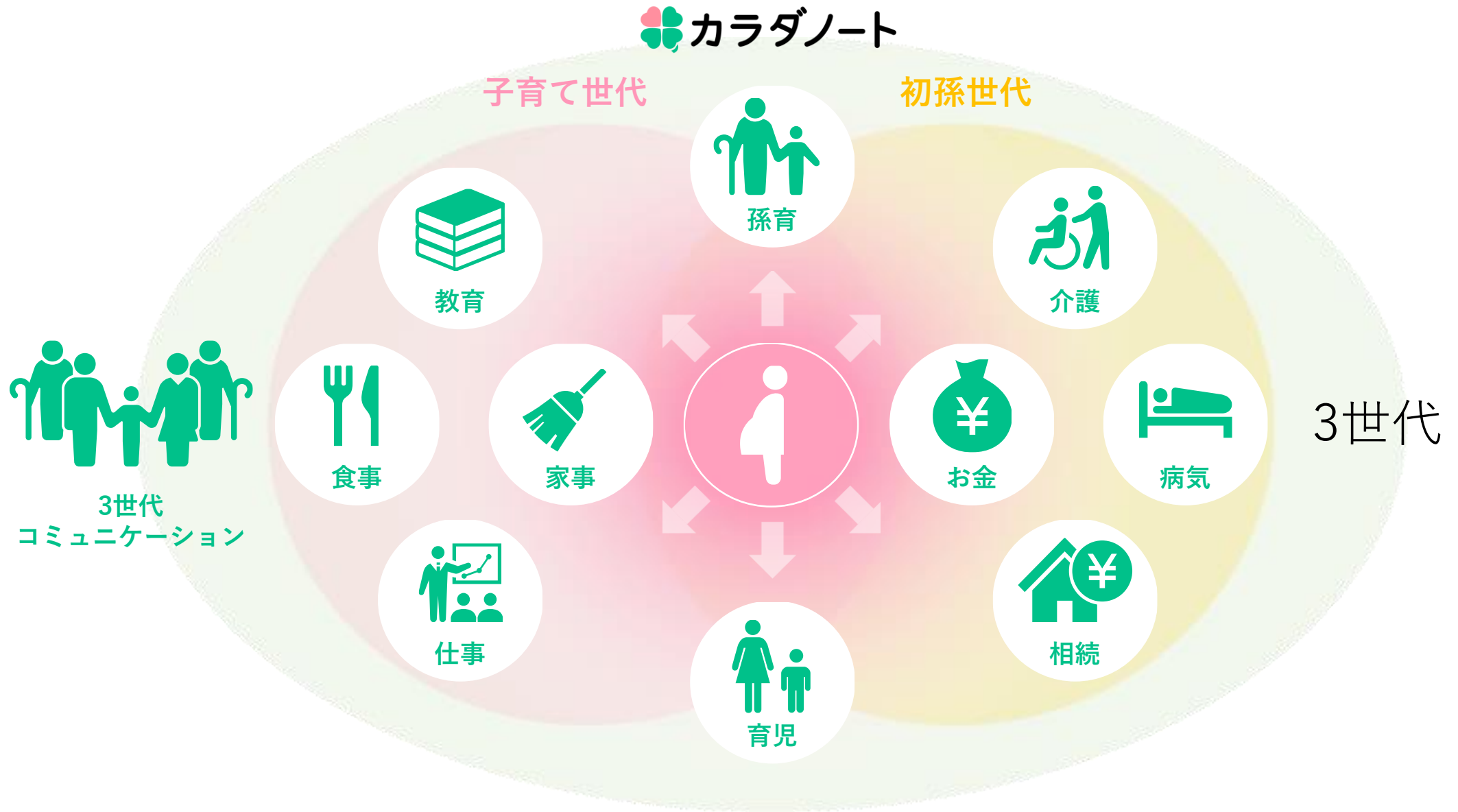
私たちは、流行り廃りの早いインターネット業界だからこそ、

**“本質的な価値観”**や**“ビジョンを重視”**し、

サービスの提供者という向き合う形でなく、

**“家族の伴走者として共に寄り添い支える存在”**

でありたい。



## 家族の繋がりを起点とした“ヘルスケア事業”を展開

特に子・孫の誕生を迎える年代は生活課題が幅広い

新しい家族を迎えるタイミング、定年やセカンドライフなど  
 様々なライフステージごとにあった生活・暮らしの効率化を支援



## 子育てTech



カラダノート



カラダノート



カラダノート



カラダノート



カラダノート

子育て生活の中で記録や共有

## ヘルスTech



カラダノート



カラダノート



カラダノート




カラダノート



カラダノート

PHR (Personal Healthcare Record)、  
孫や家族との記録や共有



個人向け保険  
(P2P保険開発着手)

EC(予定)

個人向け課金(予定)

ライフイベントを起点とした  
データの利活用によるパーソナルエージェント型サービス



かぞく  
アシスタント  
kazoku assistant  
For 子育て世代

かぞくとキャリア  
produced by karadanote

かぞくのおうち  
produced by karadanote

かぞく  
アシスタント  
kazoku assistant  
For 初孫世代

子育て世代向け

保険代理 食材宅配 住宅  
教育 ...

マッチング

子育て世代

初孫世代向け

保険代理 リフォーム 食材宅配  
終活 ...

マッチング

初孫世代

家族生活周辺産業のDX化を推進し、ユーザーへの価値提供を加速

## 家族生活周辺産業

### かぞくの保険

produced by カラダノート



保険



住宅



教育



自治体



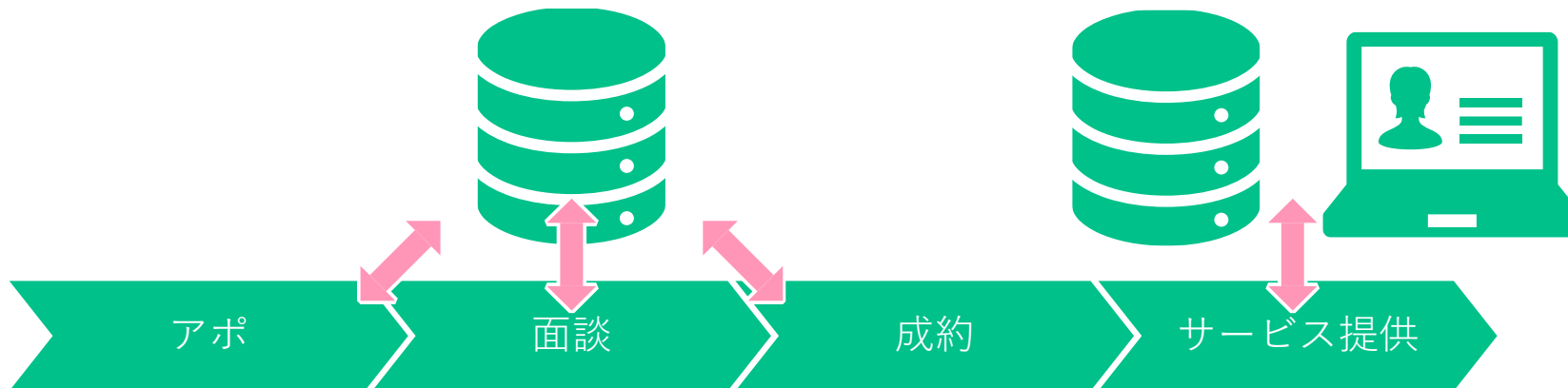
金融機関



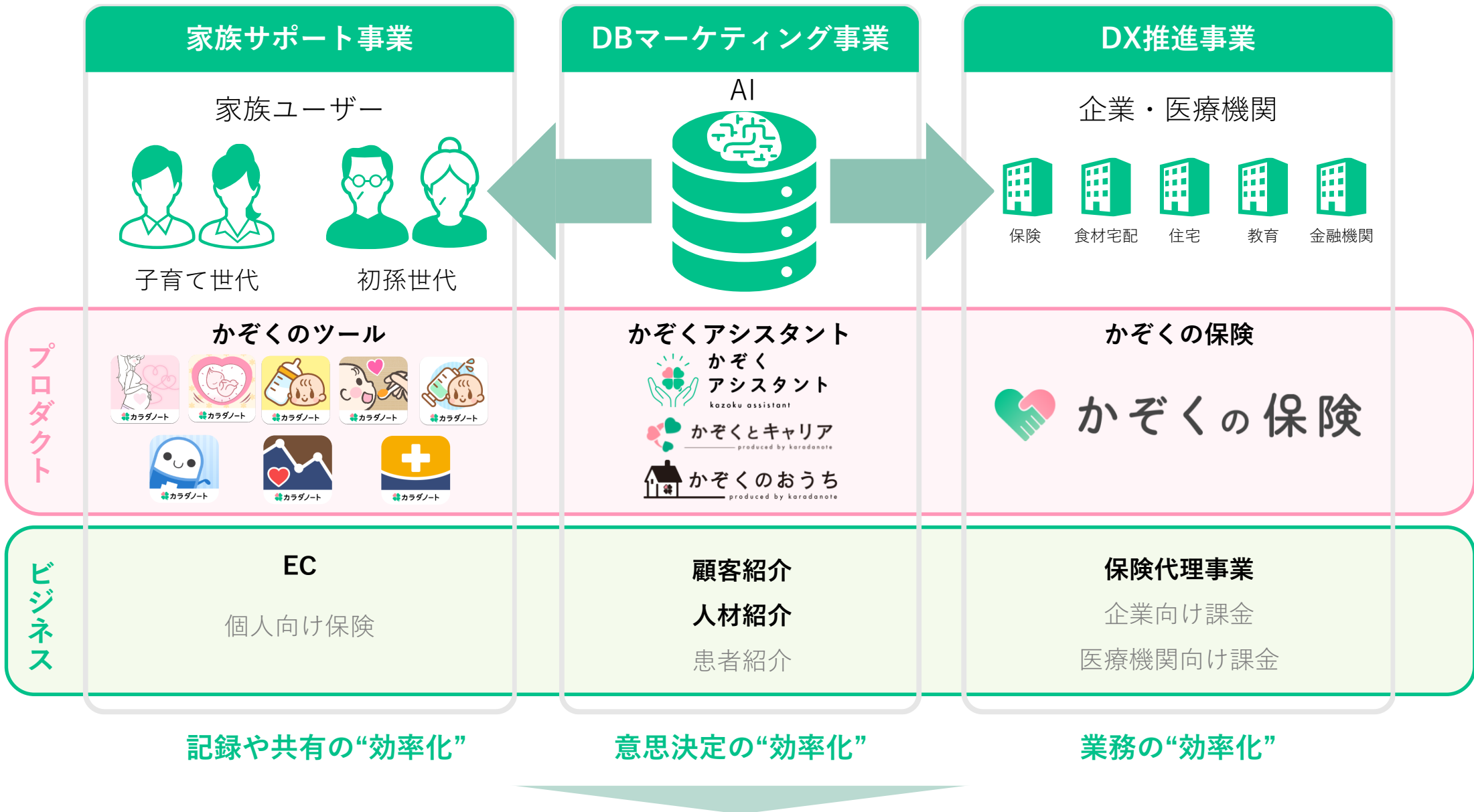
健保組合

データの利活用による  
“属人化”から“自動化”へ

ユーザーに適した商品・サービス開発へ  
“パーソナルデータ”の有効活用



家族生活周辺における“非効率”を事業者・ユーザーの両面で効率化



家族を心身ともに健康にする事業を展開



## ビジョン

家族の健康を支え 笑顔をつやます

## 会社名

株式会社カラダノート（東証マザーズ 4014）

## 所在地

東京都港区芝浦3-8-10 MA芝浦ビル6階

## 設立

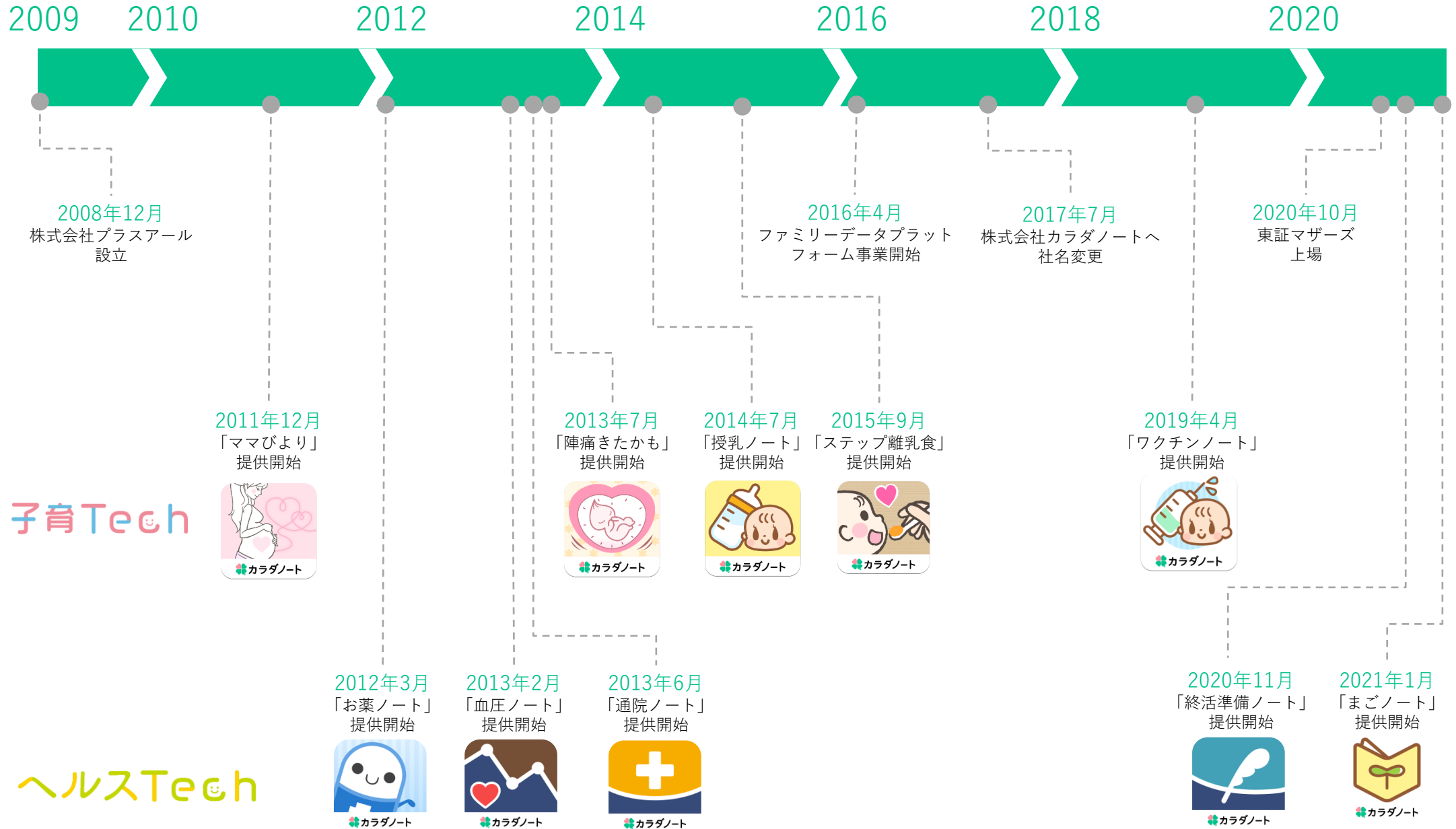
2008年12月24日

## 資本金

283,923千円（2021年4月末現在）

## 役員構成

代表取締役	佐藤 竜也	取締役	山本 和正
取締役	平岡 晃	社外取締役	田中 祐介
常勤監査役	氏家 洋輔	社外監査役	武田 健二
社外監査役	山田 啓之	社外監査役	長野 修一



本資料に含まれる将来の見通しに関する記述等は、現時点における情報に基づき判断したものであり、マクロ経済動向及び市場環境や当社の関連する業界動向、その他内部・外部要因等により変動する可能性があります。

当社は、本資料の情報の正確性あるいは完全性について、何ら表明及び保証するものではありません。